

# 「ふしぎ発見！海田町Ⅲ ～ぼくのわたしの町の“いいね！”発見隊～」

本単元で育成する資質・能力

主体性・思考力・自己理解

## 単元について

### ○ 児童の実態

本学級の児童は、1・2学期に総合的な学習の時間で、海田町の歴史をテーマに、受け継がれてきたことや古くから残っているものを学習し、保護者やお世話になったボランティアの方々に学習したことをガイドツアーとして紹介した。意欲的に調べ学習に取り組み、必要な情報を収集したり、新しいことに気付いたりすることがよくできた。一方で、2学期のガイドツアーの紹介内容には、児童によって、調べた情報と紹介した情報に大きな差があり、情報をまとめて整理することや、資料から情報を読み取ることに苦手意識をもっていると思われる。本学習以前には、器具を使用した高齢者体験や車椅子体験をしており、福祉について見たり聞いたりしている。しかし、そういった人の立場にある人々の生活を身近に感じておらず、福祉支援を必要とする人たちと関わりをもつことを漠然と考えているが、自分に引き寄せて考える経験は、この学習が初めてである。

### ○ 単元観

「ふしぎ発見！海田町Ⅲ～ぼくのわたしの町の“いいね！”発見隊～」は、初めて福祉に触れる学習であり、福祉支援を必要とする人々について探究的に学習もする。単元のゴールでは、自分たちが支援をする立場に立って、学校の中をよりよくするための活動に取り組んでいく。

本単元は、児童に福祉体験を通して考えた取組活動を通じて、福祉支援を人たちの立場を理解した上で、自分が主体となって行動を起こし、助け合って生活していこうとする主体性を育てることがねらいである。また、学習を進める中で、地図に情報をまとめることで情報を整理する力を付けたり、地図から読み取った情報を活用して、自分たちの活動に取り入れることで、情報を活用する力を付けたりすることができる。と考える。

学習の振り返りでは、これまで学習したことから、児童が付けた力を意識したり、児童の考え方や心もちが変わったことを意識させ、4年生の総合的な学習の時間「あなたにありがとう」で関わる高齢者の方々に接する機会へとつなげていきたい。

### ○ 指導観

本単元の課題の設定では、海田町福祉センターの見学やこれまでの体験活動を踏まえ、福祉支援をする立場に立って、取り組めることを探そうという学習課題を設定する。また、そのような見方で考えたものやことを“いいね！”の考え方として、自分たちの学校生活を送る場所がどれだけ“いいね！”があるのか発見することから、学習をスタートする。

地図作りのための情報収集の場面では、“いいね！”の視点を意識させて活動させ、発見したことに児童の気付きとともに記録する。この視点で校区や学校内を調査し、得られた情報を基にして、校区と校内の地図を作る。ここでは、児童の気付きを重視して“いいね！”の視点で幅広く気付きを引き出して、すでにある“いいね！”だけでなく、あったら“いいね！”を赤と青の付箋に残しておく。さらに二枚の地図を比較したり、付箋に書かれた気付きを基にして、これからの自分たちの活動を議論して決定させることで、児童自身が主体的に学習を進めているという実感をもたせたい。また、自分たちのできる取組を話し合う場面では、付箋に残したあったら“いいね！”を基に、児童に実現できるかどうかを現実的に考えさせていき、視覚的に不便さを感じる人のために学校に点字を作って貼るという活動に仕向け、実行までの見通しを立て、ゴールまでの見通しをもたせ、意欲的に学習をす

すめさせる。点字を貼る場所を決める話し合いでは、児童がこれまで学習したことをすべて踏まえ、主に視覚に不便を感じる人たちが、どんな場所に触れる機会が多いかやどんな場面で問題が起こるかなどの理由を明らかにして、点字を貼る場所を決めて、取組を実行に移したい。

振り返りでは、これまで学習したことや実行したことを振り返り、情報を整理したり、整理した情報から新しいことに気付くことができるようになったことだけでなく、児童自身の作ったものがこれから誰かの役に立ち続けることができるという充実感や心の持ち方や考え方次第でできることがあることに気付かせたい。

## 単元の目標

〔学習方法に関すること〕

- ・学習を通して、どんな人であっても暮らしやすい町にするための考え方や心のもち方に気付こうとしている。 **【課題発見力】**
- ・福祉体験によって得られた情報と新しい視点を生かして、自分の立場に置き換え、校区調査し、それによって得られた情報から暮らしやすい町づくりについて、いろいろな視点で考えることができる。 **【課題追究・情報活用能力】**

〔他者や社会とのかかわりに関すること〕

- ・体験活動によって得られた情報や新しい考えを共有し、グループごとに校区の調査活動を行い、調べたことを伝え合ったり、協力してマップの作製をしたりして課題の解決に取り組むことができる。 **【コミュニケーション能力・自己表現力】**

〔自分自身に関すること〕

- ・どんな人であっても暮らしやすい町づくりのためにいろいろな視点をもって人と接しようと思ひ、自分の町での生活に生かせる場所があることに気付くことができる。 **【自己理解】**

<単元の内容> 海田町の福祉に関する調査を基に、自分たちのできることを考え、点字を学校の必要な場所に貼り付けるなどの活動をする。

## 単元の評価規準

学習方法		他者や社会とのかかわり	自分自身
課題発見力	課題追究・ 情報活用能力	コミュニケーション能力 ・自己表現力	自己理解
①「自分たちのできる取り組みを考えて、実行する」という課題を設定している。 ②活動計画を立て、見通しを持って持って学習をしている。	①ぼくのわたしのイイね！発見隊の学習のために必要な情報を収集している。 ②作成した「海田東小学校区のイイね！マップ」から情報を読み取り、地図を比較することを生かして、活動を決めている。	①地図作りに必要な情報を協力して集めたり、気付いた事や自分たちができていることを考え、実行可能かどうかなどを話し合っていて決めている。 ②協力して、自分たちで決めた活動に取り組んでいる。	①学習を進める中や振り返りで、自分の心もちを変えることで、自分にもできることがあると気付いている。

単元で育成したい資質・能力

	A	B
【主体性】	・意欲的に福祉体験や取材を行い、様々な情報を収集し、進んで課題を見付け、解決への具体的な見通しをもとうとしている。	・意欲的に福祉体験や取材を行い、様々な情報を収集し、進んで課題を見付けようとしている。
【思考力】	・海田東小学校区と学校内の地図を比較し、違いに気付き、学校内がどんな人にとって便利なよう作られたか考えている。 ・比較した結果と調査活動を通じて学んだ観点を関連付けて、自分たちが実際に取り組めることを考えている。	・海田東小学校区と学校内の地図を比較し、違いに気付いている。 ・比較した結果と調査活動を通じて学んだ観点を関連付けて、自分たちが取り組みたいことを考えている。
【自己理解】	・みんなが暮らしやすい町づくりのために、自分の心もちを変えることで、自分にもできることがあると気付き、生活の中で生かそうとしている。	・みんなが暮らしやすい町づくりのために、自分の心もちを変えることで、自分にもできることがあると気付いている。

指導と評価の計画

全 17 時間

次	時	学習内容	評 価					
			課	情	コ	自		
一	1 3	<b>課題の設定 (3)</b> ○海田町福祉センターの見学を行う。 ・点字ブロック、手すり、スロープなどを見学する。 ・見学した設備について、どんな人のためという観点を明らかにして、便利な点を考える。		○			・課題設定のために必要なバリアフリーに関する情報を集めている。 【情①】	行動観察 ワークシート
	4	○学習課題を設定する。 ・見つけた工夫を“イイね！”と名前付けし、“イイね！”を発見していこうと意識付ける。 ・福祉センターの見学で見付けたものを海田東小学校区や学校内で発見し、気付いたことや考えたことから、自分たちにできる取り組みを考え実行するという学習課題を設定する。 ・自分たちにどんなことができるかという課題の解決に向けた見通しをもち、学習計画を立てる。	○				・自分たちにできる取り組みを考えて実行するという学習課題を設定し、それに向けた学習活動の見通しをもつことが出来ている。 【課①②】	行動観察 発言
二	4 5	<b>情報の収集 I (2)</b> ○校区の“イイね！”探しを行う。 ・グループごとに分かれて、海田東小学校区の道路や歩道にある信号・点字・スロープを探す。 ・登下校中に自分の通学路内にある“イイね！”を探す。		○			・海田東小学校区のイイね!マップ作りに必要な情報を集めている。 【情①】	行動観察 ワークシート

次	時	学習内容	評価					
			課	情	コ	自	評価規準	評価方法
二	7 ・ 8	<b>整理・分析Ⅰ(2)</b> ○「海田東小学校区内の“いいね!”マップ」を作る。 ・海田東小学校区内で見つけた“いいね!”地図内に貼り付けていく。 ・貼り付けた“いいね!”について、どんな人のために、どのように便利なのかを明らかにし、赤い付箋に書いて地図に貼り付ける。 ・海田東小学校区内に自分たちの考えた「あったら“いいね!”」を青い付箋に書き、貼り付けていく。			○		・海田小学校区のいいね!マップを集めた情報を基に作り、あったらいいものについて考え、話し合いをしている。【コ①】	発言 行動観察 ワークシート
	9 ・ 10	<b>情報の収集Ⅱ(2)</b> ○海田東小学校内の“いいね!”探しを行う。 ・学校内にある“いいね!”を探す。			○		・海田東小学校のいいね!マップ作りに必要な情報を集めている。【情①】	行動観察 ワークシート
	11	<b>整理・分析Ⅱ(2)</b> ○「海田東小学校内の“いいね!”マップ」を作り、「海田東小学校区内の“いいね!”マップ」と比較する。 ・海田東小学校内で見つけた“いいね!”を、海田東小学校地図に貼り付けていく。 ・貼り付けた“いいね!”について、どんな人のために、どのように便利なのかを明らかにし、赤い付箋に書いて地図に貼り付ける。 ・作った二つの地図を比較して、海田東小学校には点字がないことに気付く。	○				・作った海田小学校のいいね!マップを集めた情報を基に、自分たちにもできる取組について考え、見通しをもととしている。【課②】	行動観察 発言 ワークシート
	12	○海田東小学校区や学校内でできる取組について考える。 ・地図を基に自分たちで実現できる取組を考え、実現可能かどうか話し合う。			○		・地図を比較した結果から、自分たちができる取組を考え、話し合いしている。【コ①】	行動観察 発言
三	13	<b>まとめ・創造・表現(3)</b> ○海田東小学校内のどこに点字が必要かを考える。 ・「海田東小学校内の“いいね!”マップ」を基に、点字を貼れる場所について考える。【本時】			○		・これまで学習したことを基に、どの場所に点字が必要か、情報を基に考えている。【情②】	行動観察 発言
	14	○海田東小学校内のどこにどんな点字が必要か具体的に考える。 ・前時で考えた点字を貼る場所について、点字を必要とする人が具体的にどんな目的で来るのかを考え、必要な点字を決める。			○		・これまで体験したことや学習したことを基に、具体的に場面や目的を考えて、点字を決めている。【情②】	行動観察 発言
	15 ・ 16	○点字を作る。② ・点字ボランティアの方々にアドバイスをもらい、点字を作って、自分たちで考えた場所に貼る。			○		・協力して点字を作って、決めた場所に貼る目的を達成しようとしている。【コ②】	行動観察

次	時	学習内容	評 価					
			課	情	コ	自		
三	17	<b>振り返り (1)</b> ○「ぼくのわたしの町の“イイね!” 発見隊」で学習したことをふまえたまとめをもとに感想を書き、活動を振り返る。				○	・学習を通じて学んだことや気持ちやこれからの生活にでの心構えの変化に気が付いている。【自①】	発言 ワークシート
	18	<b>学びのモニタリング</b> ○自らの学びや学び方を振り返る。 ・単元の始めに立てた「ゴールの見通し」の視点で「東小校区“イイね!” マップ」をもとに自らの学びを振り返る。				○	・学習を通じて学んだことや気持ちやこれからの生活にでの心構えの変化に気が付いている。【自①】	ワークシート

### 本時の学習

#### (1) 本時の目標

「海田東小学校内の“イイね!” マップ」を基に、これまで学習したことを基に点字を貼れる場所を考える。

#### (2) 本時の評価規準

○福祉体験によって感じたことや得られた情報から学校のどこに点字を貼ることがいいのか、理由や考えを深めている。

【課題追究・情報活用力】

#### (3) 本時の学習展開 (13 時間目 / 全 17 時間)

学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫	◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力
1 学習課題を確認する。 めあて		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">             どこに点字を作るひつようがあるか考えよう           </div>		
<b>本時のゴールの見通し</b>		
<b>A</b> : 学校のどこに点字を作ればよいかこれまでの調査を思い出して理由を考え、友達の良い理由も取り入れて考えを深めている。 <b>B</b> : 学校のどこに点字を作ればよいかこれまでの調査を思い出して、理由を考えている。		
2 点字のあった場所を思い出す。 ○町の中や福祉センターを思い出すと、どんな場所に点字がありましたか。 ・歩道 ・横断歩道や階段の手前 ・エレベーターの押しボタンのスイッチ ・部屋の名前の札	◇海田町福祉センターの点字がある場所を地図と写真にして黒板に貼り、小学校のどこに点字を貼るか考える手がかりにする。 ◇福祉センター内の点字の写真は、児童が点字の場所を確認できるように提示し、見学の内容を想起できるようにする。	

<p>学習活動</p> <p>○主な発問</p> <p>・予想される児童の反応</p> <p>□思考の場の工夫</p>	<p>◇指導上の留意事項</p> <p>★めざす児童の姿</p> <p>◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p>	<p>評価規準〔観点〕</p> <p>(評価方法)</p> <p>◎本時で付けたい力</p>
<p>3 思い出した場所をもとに、点字をどこに作るか個人で考える。</p> <p>○まずは、自分だけで点字を貼りたい場所を3つ決めて、理由も付けて考え付箋にまとめましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「手すりの最初と終わり」につけておくと、手すりを持って上るから階段の始めと終わりがわかる。</li> <li>・「職員室や校長室などの入口」だと、今は目の不自由な人はいないけど、初めて来た人には便利だ。</li> <li>・目の不自由な人には、危なくないように手すりのない階段に、手すりがないことを知らせる点字を作ってもいい。</li> </ul> <p>4 思い出した場所をもとに、点字をどこ作るかグループ交流をする。</p> <p>○点字を貼りたいと思った場所を理由も付けて話し合ってみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「手すりの最初と終わり」につけておくと、ずっと手すりを持って上るから階段の始めと終わりがわかると思います。</li> <li>・「職員室や校長室などの入口」だと、今は目の不自由な人はいないけど、初めて来た人には便利だと思います。</li> <li>・手すりがないよ、みたいな危険を知らせる点字があってもいいと思います。</li> </ul>	<p>◇点字を貼る場所とそこになくてはならない理由を明確にして残しておき、グループ活動での話し合いに活かす。</p> <p>◇付箋に書く内容が短く簡単になるように黒板に提示する。</p> <p>◇点字ブロックは除いて考えるようにする。</p> <p>◆どのような場所に貼ればいいのか戸惑う児童には、福祉センターの職員の方から、点字を作る時は、どんな点に気を付ければよいかアドバイスの書かれた手紙を見せ、考えの手掛かりにする</p> <p>◇点字を貼る場所とそこになくてはならない理由を話し合い、自分の考えに生かす。</p> <p>◇グループごとに校内の地図を使い、理由を説明して、点字の貼りたい場所を話し合うようにする。</p> <p>◇グループごとに校内の地図を用意し、付箋を貼り付けて、児童の考えが残るようにする。</p>	
<p>□思考の場の工夫 <b>関連付ける</b></p> <p>点字を貼る場所について、理由を話し合うことで、他の意見と関連付けて考えたり、意見を取り入れたりする。</p>		
<p>5 振り返り</p> <p>○今日の学習で決めたことを振り返って、自分の考えを見直してみよう。</p>	<p>◇これまで学習したことを振り返り、新しく考えたことや気付いたことをまとめる。</p> <p>◇まとめから新しい課題が出るように、児童に疑問を投げかけるようにする。</p>	<p>◎点字を貼る場所について理由や考えを深めている。〔課題追究・情報活用〕(行動観察・発言・ワークシート)</p>

<p>学習活動</p> <p>○主な発問</p> <p>・予想される児童の反応</p> <p>□思考の場の工夫</p>	<p>◇指導上の留意事項</p> <p>★めざす児童の姿</p> <p>◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p>	<p>評価規準〔観点〕</p> <p>(評価方法)</p> <p>◎本時で付けたい力</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレには男子と女子があつたり、和式や洋式があるので、間違えないようにする必要があると思います。</li> <li>・全部作るのは大変だから、本当に点字を貼る場所を考えることが必要だと思います。</li> <li>・自分たちの力だけでは難しいからボランティアさんの力を借りて決めたいなと考えました。</li> </ul>		
<p>★めざす児童の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男子トイレと女子トイレや3年生の教室が3つあるので、それを区別できるような点字が必要だと思います。</li> <li>・点字をいろんなところ全部に作ることは難しいから、本当に必要なところだけを選んで作るように、もう少し考えないといけないと思います。</li> <li>・点字を作るために必要な道具や助けが必要だと思います。</li> </ul>		

(4) 板書計画

めあて 学校のどの場所に点字を貼るか考えよう

A : 点字を作る場所+理由を深める  
 B : 点字を作る場所+理由

海田町ふくしセンターで見つけた点字

海田福祉センターの館内地図

エレベーターのボタン  
何階に行くかわかる

手すり  
上り下りがわかる

ふくしセンターの方から頂いたアドバイス

- ・手すりのような目の不自由な方が触ることが多い所
- ・スイッチのように、ちゃんと使わないと動かないもの

海田東小学校の校内地図

まとめ

- ・教室のドア…迷わないで来ることができる
- ・トイレ…男子女子がある, 和式洋式がある
- ・点字ブロック…キケンを知らせる

次の課題

点字を作るには, 道具が必要

内容をどうをどうするか考える必要がある

ボランティアの人の手助けがあるといい

<参考> 学びのモニタリング

**学びのモニタリング**

ふしぎ発見!海田町

くぼくのわたしの町のイイね!発見隊


三年 組 番 ( )

① 東小学校のための取り組みにひとつようなじょうほうを集め、それをもとに取り組みをすることができましたか。

とても まあまあ ふつう あまり まったく

5 4 3 2 1

② 作った地図を読み取ったり、比べたりして自分たちの取り組みを話し合って決める事ができましたか。

とても まあまあ ふつう あまり まったく

5 4 3 2 1

③ 単元をふり返って、身体が不自由な人の立場に立つて考えることができましたか。

とても まあまあ ふつう あまり まったく

5 4 3 2 1

④ この学習で学んだことをどんな風に生活に活かしてみようとおもいますか。



